



学校だより

～修学旅行特別増刊号～
(第02-08号)

令和2年11月6日
横浜市立高田中学校
校長 横田 由美子
TEL:591-4183

3年間の宿泊・校外行事の集大成である修学旅行。今年は日帰りでの弾丸京都修学旅行となりました。2020年の高田中学校3年生の一日として、それぞれの記憶に、それぞれの意味を持ち、刻まれたと思います。特別な修学旅行について、特別増刊号です。

To Go, or Not To Go.

第3学年主任 富永佐規子

「行くべきか、行かざるべきか。」今年の3月に、突然の休校が告げられて以来、そのことを考えない日はないくらい、毎日、修学旅行のことを考え、同じ3学年の職員や管理職と何度も、「実施」か「中止」かを検討しました。

7月には、新幹線の座席を確保するために、参加予定人数を申請しなければならず、保護者に1回目の参加確認書を提出していただいたところ、ほぼ全員が「参加」に。ただし、安全は確保されるのか、というご意見が書かれていたことも、確かです。

「生命の安全」を最優先に考えたときに、どう考えても宿泊は難しい…。さて、どうするか…。その時に提案された案が、「京都日帰り修学旅行」でした。たとえ日帰りであっても事前に学びを積み重ねてきた緑学年の生徒たちであれば、修学旅行の目標を達成することができる。「行かない」ではなく、「行く」ための案を最後まで模索できたのは、生徒たち一人ひとりへの信頼からでした。休校明けも、感染症予防の観点から、学校生活には様々な制約がありました。そのような不自由な状況の中でも、前向きに授業や諸活動に取り組む生徒たちに、少しでも報いたい、という思いもありました。

当日は、あいにくの雨でしたが、平日ということもあってか、どちらの寺社も、ゆっくりと見学することができました。清水の地主神社では、有名な恋占いの石の間を歩くのをみんな楽しんでクラスもあり、恋人ならぬクラスの仲を深められたようです。銀閣寺では、建物や庭園の向月台・銀沙灘の見事な作りをじっくりと見るすることができました。そして、ここが最も印象的だったという生徒が多かった三十三間堂。1973年から40年余りかけて修復された1001体の千手観音立像のお姿は圧巻でした。千手観音立像全てを拝観することができた修学旅行は、(私は)今回が初めてでした。二階席のような特別な見学場所が設けられていたり、雷神像は膝をついて下から見上げたりと、好きなだけ拝観することができた贅沢な時間でした。聖護院御殿荘での昼食も好評で、懐石風に盛られた御膳は美しく、茶碗蒸しや白みそ仕立てで丸餅の入ったお雑煮もついて、京都らしさを味わえたのではないでしょ

うか。柿をかたどった箸休めに、「陶器だと思ったら和菓子だった。」と、驚く生徒もいました。お膳に添えられた名物の八つ橋で「はじめて餡子を美味しいと思った」生徒もいました。クラスごとに部屋をとっていただき、クラス写真も撮らせていただきました。最後に集合した京都駅では、全体写真やグループ写真も撮ることができました。「早朝に出発したら、もう日が暮れていた。」と、帰りにつぶやいていた生徒がいましたが、本当に、あつという間の一日でした。

無事に修学旅行を終えてほっとすると同時に、今回は一定数の欠席者がいたこともまた事実です。結局、何が正解だったのか結論を出してはいませんが、参加した者も参加しなかった者も、お互いを認め合って生活している今の姿が、一つの結論であると受け止めています。そして、保護者や地域の皆様のご理解と支えがあってこそこの修学旅行の実施となったことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校だより 10月号
再掲

わがくこそ 和学誇創 ～和を学び誇れる未来を創るために～

修学旅行実行委員会 委員長 新井 和人

2020年10月9日、私たち緑学年は、京都へ修学旅行に行きました。今年度の修学旅行は日帰りとなりましたが、私たちが1年生のときから楽しみにしていた修学旅行が中止にならずに済んで、とても嬉しく思っています。

私たちは1年生の時に自然教室、2年生の時に川崎・鎌倉校外学習に行きました。その時にできたこと、よかったことがあったと思いますが、一人ひとりに反省点やうまくできなかったことなどもあったと思います。そういった反省点を改善して、楽しむ時は全力で楽しむ、静かにする時は静かにして、緑学年の全員が楽しかったといえる思い出になるような修学旅行を創っていきたくと、実行委員会で決めたスローガンが「和学誇創」です。

日帰りの修学旅行という、例年とは違う形になりましたが、みんな臨機応変に対応できていたと思います。また、一人ひとりの心に残る、最高の思い出になったと思います。修学旅行を最高の形で終わることができたのは、緑学年全員のお陰です。緑学年のみなさん、お疲れ様でした。本当に、ありがとうございました。



1 組安田風音さん（金賞）



2 組芹田舞さん（銀賞）



3 組中田倫加さん（銀賞）

* 休校期間中に、3学年全生徒が描いた線画作品の中から、3学年生徒の投票で選ばれたしおり表紙絵入賞作品3点です

京都を訪れて～三十三間堂―聖護院御殿荘―清水寺―銀閣寺～

修学旅行実行委員会 副委員長 安藤 太一

実際に京都を訪れ、まず、お寺を見たのですが、それがとても美しくて圧倒されました。そのお寺が「三十三間堂」です。千手観音立像1001体、雷神・風神像なども合わせると、1032体もの仏像…、その数に圧倒されました。観音立像は、一見同じようですが、よくよく見ると、一体一体違っていて、とても面白かったです。

次に訪れたのが清水寺です。有名な「清水の舞台」は、残念ながら、今も修復工事中で一部しか見られませんでした。清水では、お土産も買いました。私は、いろいろな味の八つ橋を買いました。京都のお店の人は、お客さんへの接し方が丁寧で、買い物が終わってお店を出る時に、店員のお兄さんに「おおきに。」と、声をかけられて、「京都へ来たんだな。」と実感しました。

最後に訪れたのが、銀閣寺です。コロナの関係で建物の中が見られなかったり、雨で足元が危なかったのも、上までのぼることができなかったりしたのが残念でしたが、銀閣寺の建物は、外から見ただけでも、昔の人の技術の素晴らしさが伝わりました。

新幹線で京都へ向かっている時にはまだ、京都は大都市なので、「横浜とあまり変わらないのでは」と思っていたけれど、実際に行ってみると、街中を少し歩いただけでも寺社があったり、お店や看板の色が統一されていたりと、横浜とは全く違う、京都らしさをたくさん感じました。

日帰りとは分かった最初の頃は、「えー、日帰りなの？」という声も聞かれたので、不安になりましたが、実際に行ってみると、雨に降られてしまいましたが、みんなニコニコして楽しんでいて、本当によかったな、と思いました。



放送による結団式。（放送室での様子です）



新幹線では静かに！事前にトランプ大会。



朝7時、新横浜駅を出発「行ってきまーす！」



銀閣の美しい庭園をゆったり見学。



秋の雨に煙る、清水の舞台からの眺め。



エコバック
にも注目

清水坂で、仲良くお土産購入。



聖護院御殿荘にて京を味わう。



あっという間に帰る時間に…京都タワーを背景に、思い出の一枚！



帰路途中の新幹線にて。